

がみこの映画道

まだまだ
続くよ!

番外編 SWAN LAKE



さて前回の続き(誰も待ってないだろうけど・・・)
インターネットでも取れないので、最終日は諦めて、アダム・クーパーの出が多かった金曜日のチケットを取りました。当日でないとキャストはわからないのでキャスト表を見るまでドキドキでした。
でも結果良くて、土曜、日曜を残しているにもかかわらず、今回の公演でアダム・クーパーが踊った最後の日でした。
最終日、アダム・クーパーと思ってチケットとった方、ごめんなさいって感じです。(ウフッ・・・)
そのせいかわからんけど、妙に皆テンション高くてノリノリ。

最初にチラッとでた時から、「デカッ!!」、「カッコイイ!!」

もう鳥肌立ちまくり、この人を観ないと話になんないと思いました。舞台は最高、大きくって、強くって、人を魅了するオーラがあります。

ただ一つ、オーチャードホールは観難い。前の人と重なっていらぬ神経を使うせいか、疲れしました。客席にさきに観たジーザスがいて、みんな気がついて手を振ると、ジーザスもそれに応えていました。踊りはアダム、笑顔はジーザスといった感じでした。

実はこの舞台が観られれば、誰が踊ろうといいと私は思っていたのです。でもそれは誤りでした。振り付けからの参加という事もあるでしょうが、明らかにイメージはアダム・クーパーです。先ず背が高いこと、体の鍛え方(筋肉のつき方)、バレエのテクニック、表現力・・・彼の魅力いっばいの舞台です。一度彼の舞台を観たならば、他と比べることが出来ないでしょう。

そのせいか、今回行って、リピーターの多さにびっくりしました。そしてその熱狂振り、熱心さにも・・・はっきり言って恐かったです。ともにアダム・クーパーを語ろうみたいな・・・。

周りは5,6人で何回も観に来てる人や、一人で何回も来てる人でいっぱいでした。

せっかくの舞台なのにずーっとオペラグラス越しに観ていて、生観ろよって感じです。

私だって3回も観たりピーターです。でもついていけない・・・恥ずかしながら、そんな一人につかまって、ずーっと話し込まれてしまいました。

一緒にいた娘には無視されるは、帰ろうと思っても構わずついてくるは、ロンドンには誘われるは、ちょっとカルチャーショックでした。

私は今回で曲がりなりにも本懐が遂げられたので、すごく満足。ロイヤルバレエやボリショイバレエが来ますけど、観たいダンサーはチケットが取れない時があります。

でもこれほど熱狂的なのは見たことありません。恐るべし、映画って感じです。

娘にあの踊りを踊れ、あのポーズをしろとか言って、まだ余韻に浸っている今日この頃です。

